

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島威夫

事業名 一般国道16号 <small>はちおうじかくふく</small> 八王子拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 関東地方整備局								
起終点 自：東京都八王子市中野上町 <small>はちおうじしなかのかみちょう</small> 至：東京都八王子市左入町 <small>はちおうじしさにゆうまち</small>	延長			2.7km								
事業概要 国道16号は、横浜、相模原、八王子、大宮、千葉、横浜を結ぶ延長約339kmの重要な環状道路である。八王子拡幅は、4車線区間に挟まれた現道2車線区間であり、著しい渋滞区間になっているため、交通渋滞緩和と安全性向上を図り、国道機能の確保を目的として計画された事業である。												
S59年度事業化	S36年度都市計画決定 (S51年度変更)	S55年度用地着手	S60年度工事着手									
全体事業費	約 300億円	事業進捗率	42%	供用済延長	1.5km							
計画交通量	50,000台/日											
費用対効果分析結果 <small>(※1)</small>	B/C (事業全体) 2.5 (残事業) 2.7	総費用 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 116 / 123億円 (事業費：109/116億円) (維持管理費：7/7億円)	総便益 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 310 / 310億円 (走行時間短縮便益：285/285億円) (走行費用減少便益：21/21億円) (交通事故減少便益：4/4億円)	基準年 平成15年								
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（混雑時旅行速度が20km/h未満の区間の旅行速度改善が期待される） ・都市の再生（市街地再開発の計画あり [中野西・中野中央区画整理事業計画]） 他5項目に該当												
関係する地方公共団体等の意見 八王子拡幅箇所は、路線バスの重要な運行路線であることから、毎年（社）東京バス協会から早期整備の要望を受けている。												
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ひよどり山有料道路が平成13年1月開通。中野中央・中野西土地地区画整理事業が継続中。												
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成11年度までに、国道16号から八王子ICにアクセスする交通需要に対応するため、IC付近のL=1.5kmを部分供用している。												
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 区画整理事業の面整備との整合を図りつつ拡幅の事業を進めている。 今後は、区画整理事業者と調整を図り、国道拡幅箇所を先行して用地確保を行い、早期に4車線化を完了させる。												
施設の構造や工法の変更等 なし												
対応方針	事業継続											
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。											
事業概要図												
<p style="text-align: center;">八王子拡幅 L=2.7km</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">凡 例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">■</td> <td>供用中</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">▨</td> <td>再評価箇所</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">▩</td> <td>うち供用中</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">● 主要渋滞ポイント</p>					凡 例		■	供用中	▨	再評価箇所	▩	うち供用中
凡 例												
■	供用中											
▨	再評価箇所											
▩	うち供用中											

(※1) 事業全体の費用便益は、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を行っている。

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

